

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 中小企業者事業資金利子補給金
-------------------	-----------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出
主要な施策	2	経営基盤の強化
事務事業番号	001	事務事業コード 31322001 事業開始年度 昭和 5 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別 一般会計	予算書上の事務事業名 中小企業特別融資利子補給金
-----------	--------------------------

部 名 観光経済部	グループ名 商工労政 G
-----------	--------------

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市内中小企業団体及び小規模企業者
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 中小企業特別融資制度の団体事業資金及び小口事業資金の借入(残高)に対して利子補給を行なう。 【補給率】 ・団体事業資金 利子補給率 年1.5% ・小口事業資金 利子補給率 年1.0% ・新分野進出支援資金 利子補給率 年0.7%
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市内中小企業団体及び小規模企業者の経営安定と育成、振興を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市中小企業振興条例 登別市中小企業者事業資金利子補給要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	申請件数(当該年度)	件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	0				
	実施件数(当該年度)	件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	0				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	0	395	490	490	490	1,470
合 計				0	395	490	490	490	1,470
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	17	17			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		17	17			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内中小企業団体及び小規模企業者の経営の安定と育成・振興を目的とした事業である。特に代替性のある制度もないことから、市が主体となり実施する必要がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 本事業により市内中小企業団体及び小規模企業者の経営の安定と育成・振興を図ることが出来る。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 本事業を広報等で周知するほか、地域の金融機関との連携を強化することで、市内中小企業団体及び小規模企業者の経営安定化が図られる。また、平成22年度に小口事業資金について、利率などを緩和し、それに伴ない補給率など制度を改正したため、利用が見込まれ成果が向上
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市内中小企業者等の経営基盤の強化を図るための事業なので、不安定な金融情勢の中、現状からの予算削減は、事業融資枠の減少につながることから難しいと判断している。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別市中小企業振興条例及び登別市中小企業者事業資金利子補給要綱に基づき、市内中小企業団体及び小規模企業者の経営の安定と育成・振興を目的に実施している。近年の実績は無いが、景気回復の立ち遅れから、依然として市内経済は厳しく、特に代替性のある制度もないことから、今後も本事業を継続する必要がある。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）